

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 消防-06 消防施設整備事業						
主管課	消防総務課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	消防署から遠距離にある地域の防火防災体制の強化等を図るとともに、防災拠点である消防署所の機能整備を図る。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
事業の対価							
運営資源状況	決算値(千円)	6,902	0				
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	6,902	0	0			
	人員配置数	0.4人	0.4人				
	人件費(千円)	3,094	3,328				
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	9,996	3,328	0			
	市民1人当りの経費(円)	56	19	0			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
防災拠点の確立と諸部応力の強化	○	目標値				○	○
		実績値				○	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
消防施設整備事業	6,902	消防施設整備事業	235,211	今後の方向性	A	理由・手法	津波被害に対応すべく、防災拠点の移転、解体及び改築を実施し、消防力の強化を図る
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	津波被害を鑑み、防災拠点である消防本部機能を大船消防署に移転し、消防力の強化を図る										
課題解決のための取組	大船消防署の設計業務を業者に委託、改築工事を実施し27年度当初の運用を目指す					取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	改築工事における、細部の調整等										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	平成27年4月に、本部機能が大船消防署に移転することにより、津波被害が解消され消防力の強化が図れる。また、同時進行で消防救急無線及び高機能指令センターの改築が行われるため相互の連絡を密にし、構築していくもの。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	A		
※□事業完了											

評価者名

消防総務課長

斎藤 務

